

令和7年度

北海道百年記念広場モニュメント設置工事測量設計等委託業務

設 計 図

令和8年3月

北 海 道 環 境 生 活 部

株式会社コンストラクションサポート藤井

北海道百年記念広場モニュメント設置工事測量設計等委託業務  
設計図目録

図番	図面名	備考	図番	図面名	備考	図番	図面名	備考
1	工事特記仕様書		31	モニュメント配筋標準図(9)		61	C型ベンチブロック展開図(内面)	
2	外構整備基本方針		32	モニュメント配筋標準図(10)		62	花壇テーブルブロック展開図(外面)	
3	モニュメント配置図		33	モニュメント配筋標準図(11)		63	花壇テーブルブロック展開図(内面)	
4	全体平面図		34	モニュメント配筋標準図 付加		64	花壇ブロックH1200型展開図(外面)	
5	横断図(1)		35	土質柱状図		65	花壇ブロックH1200型展開図(内面)	
6	横断図(2)		36	杭・基礎・基礎梁伏図		66	花壇ベンチブロック展開図(外面)	
7	横断図(3)		37	床・壁伏図		67	花壇ベンチブロック展開図(内面)	
8	横断図(4)		38	RC部材リスト		68	花壇ブロックL4000型展開図(外面)	
9	横断図(5)		39	D3通り架構配筋要領図		69	花壇ブロックL4000型展開図(内面)	
10	横断図(6)		40	園路線形図		70	花壇ブロックL6000型展開図(外面)	
11	横断図(7)		41	園路A一般図		71	花壇ブロックL6000型展開図(内面)	
12	モニュメント平面図		42	園路B一般図		72	花壇ブロックL8000型展開図(外面)	
13	モニュメント立面図		43	園路C一般図		73	花壇ブロックL8000型展開図(内面)	
14	モニュメント断面案内図		44	園路D一般図		74	植栽平面図	
15	モニュメント断面図(1)		45	園路E一般図		75	花壇植栽詳細図(1)	
16	モニュメント断面図(2)		46	園路F一般図		76	花壇植栽詳細図(2)	
17	モニュメント断面詳細図		47	標準断面図		77	花壇植栽詳細図(3)	
18	モニュメント展開図(1)		48	外構家具図(1)		78	花壇植栽詳細図(4)	
19	モニュメント展開図(2)		49	外構家具図(2)		79	モニュメント中央・外周植栽詳細図(1)	
20	モニュメント展開図(3)		50	T型ベンチブロック組立図		80	モニュメント中央・外周植栽詳細図(2)	
21	モニュメント展開図(4)		51	C型ベンチブロック組立図		81	芝生平面図	
22	埋込プレート詳細図		52	花壇テーブルブロック組立図		82	支柱詳細図	
23	モニュメント配筋標準図(1)		53	花壇ブロックH1200型組立図		83	特記仕様書・植栽基盤詳細図	
24	モニュメント配筋標準図(2)		54	花壇ベンチブロック組立図		84	手摺設置図	
25	モニュメント配筋標準図(3)		55	花壇ブロックL4000型組立図		85	散水栓配置図	
26	モニュメント配筋標準図(4)		56	花壇ブロックL6000型組立図		86	施工計画図	
27	モニュメント配筋標準図(5)		57	花壇ブロックL8000型組立図		87	仮設計画図	
28	モニュメント配筋標準図(6)		58	T型ベンチブロック展開図(外面)		88		
29	モニュメント配筋標準図(7)		59	T型ベンチブロック展開図(内面)		89		
30	モニュメント配筋標準図(8)		60	C型ベンチブロック展開図(外面)		90		

# 構造設計特記仕様

※修正箇所は下線を引くこと  
適用は ■ 印を記入する。

発行 一般社団法人 北海道建築士事務所協会札幌支部 平成28年 10月3日 監修 構造設計業務委員会

## 1. 建築物の構造概要

- (1) 建築場所 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
- (2) 工事種別 ■新築 □増築 □増改築 □改築
- (3) 構造設計一級建築士の関与 □必要 ■必要としない
- 法20条第一号(高さ60m超)  
□法20条第二号  
(□RC造高さ20m超 □S造4階建以上 □木造高さ13m超 □その他)
- (4) 構造種別 □構造計算ルート2もしくは3  
□鉄骨造(S) □補強コンクリートブロック造(CB) □木造(W)  
■鉄筋コンクリート(RC)  
□壁式鉄筋コンクリート造(WRC)  
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)  
□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)  
□プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)
- (5) 階数 地下 0 階 地上 1 階 塔屋 0 階
- (6) 主要用途 工物
- (7) 屋上付属物 □高架水槽 kN □キュービクル kN  
□広告塔 □煙突  
□エレベータ 6人乗(マシフルムレス ロープ式 油圧式)  
□リフト kN □ホイスト・クレーン kN  
□倉庫積載床用 7,800 N/m<sup>2</sup> □受水槽 kN □消火水槽  
□図書室 N/m<sup>2</sup>  
□門扉 □擁壁 □駐輪場 □機械式駐車場
- (8) 特別な荷重 □有( ) □無 ■無
- (9) 付帯工事 工物
- (10) 増築計画 □有( ) □無 ■無
- (11) 構造計算ルート 工物
- (12) 積雪荷重 垂直積雪量 140 cm
- (13) 基準風速 32 m/s  
地表面粗度区分 ■I類 □II類 □III類 □IV類
- (14) 地震地域係数 □Z=1.0 ■Z=0.9 □Z=0.8
- (15) 凍結深さ 60 cm (16) 重要度係数 I = 1.25

## 2. 使用建築材料表・使用構造材料一覧表

(1) コンクリート (レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

適用箇所	種類	設計基準強度 F <sub>c</sub> =N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	備考
躯体	■普通、□軽量	27	18	比重 2.3
捨コンクリート、かさ上げコンクリート	■普通 □軽量	18	15	比重 2.3

■Fc30以上のコンクリートに高減水AE混和剤を採用する

(2) 鉄筋

種別	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	■SD295 A	D16以下	一般
	■SD345	D19~D25	梁主筋
	□SD390		■ガス圧接継手
	□SD490	D22	□溶接継手 □機械式継手
高強度せん断補強筋	□材種 SBPD1275	柱・梁あばら筋	( )
丸鋼 (JIS G 3112)	□大臣認定番号 MSRB-0007, 0015		各継手の使用詳細については本仕様5.(2)鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。
溶接金網 (JIS G 3551)	□SR235		

(3) 鉄骨

種類	規格	使用箇所	現場溶接	備考
□SS400	JIS G 3101	無印の鋼板、形鋼	□有 □無	
□SS490	JIS G 3101		□有 □無	
□SM490A □SM490B、C	JIS G 3106		□有 □無	
□SM400B	JIS G 3136	□印の鋼板、形鋼	□有 □無	
□SM490B	JIS G 3136	◇印の鋼板	□有 □無	
□STKR400 □STKR490	JIS G 3466		□有 □無	
□STK400	JIS G 3444	無印の鋼管柱	□有 □無	
□SKK400 □SKK490	JIS G 5525		□有 □無	
□BCR295	大臣認定		□有 □無	
□BCP235 □BCP325	大臣認定		□有 □無	
□SSC400	JIS G 3350		□有 □無	
□STKN490B	JIS G 3475		□有 □無	
□高張力鋼(基準強度440N/mm <sup>2</sup> )	大臣認定		□有 □無	

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

- (4) ボルト
- 高力ボルト □F10T (JIS B1186) □S10T 認定番号( ) □F8T 認定番号( )
- 普通ボルト(中ボルト)(JIS B1180)
- アンカーボルト □SS490 □ABM490 □ABR400 □ABR490
- 頭付スタッドボルト φ=19 L=150 mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)

## 3. 地盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
- 有(□敷地内 ■近隣) □無(調査計画 □有 □無)
- | 調査項目           | 資料有り | 調査計画 | 調査項目   | 資料有り | 調査計画 | 調査項目   | 資料有り | 調査計画 |
|----------------|------|------|--------|------|------|--------|------|------|
| ボーリング調査        | ○    |      | 静的貫入試験 |      |      | 標準貫入試験 | ○    |      |
| 水平地盤反力係数の測定    |      |      | 土質試験   | ○    |      | 物理探査   |      |      |
| 試験掘(支持層の確認)    |      |      | 平板載荷試験 |      |      | 液状化判定  | ○    |      |
| スウェーデン式サウンディング |      |      | 現場透水試験 |      |      | P S 検層 |      |      |
- 注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。
- (2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎、杭の位置を明記すること)  
調査位置・柱状図・設計GLの標高等は別図による。

## 4. 地業工事

- (1) 直接基礎 □ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎 試験掘 □有 □無  
深さ GL-12 m 支持層-N値50以上の砂礫層  
長期許容支持力 1000 kN/m<sup>2</sup> 載荷試験 □有 □無
- (2) 地盤改良 □浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 □ラップルコンクリート  
深さ GL- m  
長期許容支持力 kN/m<sup>2</sup> 載荷試験 □有 □無  
注) 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針:日本建築センター2002」による。

(3) 杭基礎 支持層-礫混じり火山灰質砂

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC □PRC □PHCストレート杭 □PHCPH杭	PRC(□I種 □II種 □III種) 鋼管 □SSK400 ■STK490 H形 □SS400 □SM490	G-ECS/バイル工法(同等工法)	国土交通大臣認定 IACP-0585(砂・礫 令和元年7月23日)
□場所打ち コンクリート杭	コンクリート F <sub>c</sub> N/mm <sup>2</sup> コンクリート F <sub>a</sub> N/mm <sup>2</sup> スランプ cm以下 セメント量 kg/m <sup>3</sup> 単位水量 kg/m <sup>3</sup> 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	□オールケーシング □底底杭 □リバスサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手掘 □機械掘	認定第 号 年 月 日

杭仕様 ■施工計画書承認 ■杭施工結果報告書  
試験杭 (■有 □無) (□打ち込み □載荷 □孔壁測定 ■施工性確認・支持層確認) 1本

杭符号	杭径(mm)	先端等価羽直径Dw	備考		
			板厚(mm)	材質	長さ(m)
PI	406.4	818.6mm	上部19 中間12.7 下9.5	STK490	2+1+6

杭頭埋め補強

工法	鉄筋

「施工計画書等で杭の施工において、打撃力等により杭が損傷等を受けないよう、構造耐力上の安全性の確保を図るよう十分な措置を講ずる」

- (4) 砂利および捨てコンクリート地業
- 砂利地業:厚 60 mm  
■捨てコンクリート地業:厚 150 mm  
□ポリエチレンフィルム敷き:厚 0.2 mm
- 適用範囲:基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下

## 5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

- 本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(F<sub>c</sub>)が 36 N/mm<sup>2</sup>以下に適用し、鉄筋の材質は SD390 以下に適用する。
- (1) コンクリート
- コンクリートは JIS A 5308 (レディーミクストコンクリート)に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
- 耐久設計基準強度 F<sub>d</sub> □一般 ■標準 □長期 □
- セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
- 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法はJASS 5T-603によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
- また、打ち込み量が 150 m<sup>3</sup>を超える場合は 150 m<sup>3</sup>ごとまたは、その端ごとに一回を標準とする。
- 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。
- 尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 150 分以内、25℃以上の場合は 120 分以内とする。
- コンクリート打ち込み中及び打ち込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
- 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

- (2) 鉄筋
- 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5 による。
- 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種1号適合品とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
- ルート1計算 梁の引張鉄筋の柱への定着長さは40d以上とする
- 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級				鉄筋の径
	(1)引張力最小の部位	(2)(1)以外の部位(注)			
	A級	B級	SA級		
■重ね継手	■40d □35d □( )d				■D(16)以下 ■D(19)以上
■圧接継手	□告示1463号第2項各号	□			□D( )以上
□溶接継手	□告示1463号第3項各号	□	□		
□機械式継手	□告示1463号第4項各号	□	□	□	□D( )以上

注) (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書 2015)』によって検討した部材の条件・仕様によること。

- D19未満は、すべて重ね継手とする。
- 継手部分の施工要領は(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事)による。
- 継手部分の検査方法:・外観検査 ■有 □無・引張試験 □有 ■無・超音波探傷試験 ■有 □無  
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
- (1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする)
- 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、■H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は、工事監督者が認める公的な試験機関で行うこと。

- (3) 型枠
- 材料 合板厚 12mm を標準とする。 ■施工 JASS 5 による。
- 型枠存置期間

種類 部位	せき板			支柱				
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ上	スラブ下	はり下	はり下	はり下	
コンクリート(日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28	
コンクリートの圧縮強度	5.0N/cm <sup>2</sup>			設計基準強度の50%				
				設計基準強度の85%				
				100%				

- 注) 1 片持ばり、底、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。
- 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6 直上層に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱(大梁の支柱を除く)の盛りかえを行わないこと。
- 注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

## 6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」  
□社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」  
□鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
- (2) 工事監督者の承認を必要とするもの
- 製作工場 □製作要領書 □工作図 □施工計画書  
□認定または登録工場(大臣認定 S H M 準格グレード)  
□材料規格証明書※、または試験成績書  
□鋼材 □高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド  
※社)日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。社内検査表 □
- (3) 工事監督者が行う検査項目  
(□印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)
- 現寸検査 □組立・開先検査 □製品検査 □建方検査 □
- (4) 溶接部の溶接は下記によること
- 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ  
□日本建築学会「溶接工作規程、同解説I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII、IX」  
□日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

□溶接部の検査(検査結果は後日工事監督者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数		備考
		工場自主検査	第三者受入検査	
□完全溶込み溶接部(突合せ溶接)	外観検査(※)	100%	AQUL 4.0%	■% ※平成12年建設省告示第1464号第二号による(目視及び計測)
□	超音波探傷検査	100%	AQUL 4.0%	■% (目視及び計測)
	内質検査(注)			■% □硬さ試験 ■% □示温塗料塗布 ■% □マクロ試験・その他 個 個 個
	外観検査(※)	■%	■%	■% 検査水準は第6水準とする。
□	外観検査(※)	■%	■%	■%

第三者検査機関名

第三者検査機関とは、建築主、工事監督者又は工事施工者が、受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

□高力ボルトの検査(検査結果は後日工事監督者に報告すること)

輪力導入試験 □要 □否 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否  
□一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。  
□トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

- (6) 防錆塗装
- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。  
錆止めペイントは、□JIS K 5674、□溶融亜鉛メッキ処理とする。(屋外露出範囲)
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

- (7) 有効細長比
- 有効細長比は柱にあつては200以下、柱以外のものにあつては250以下とする

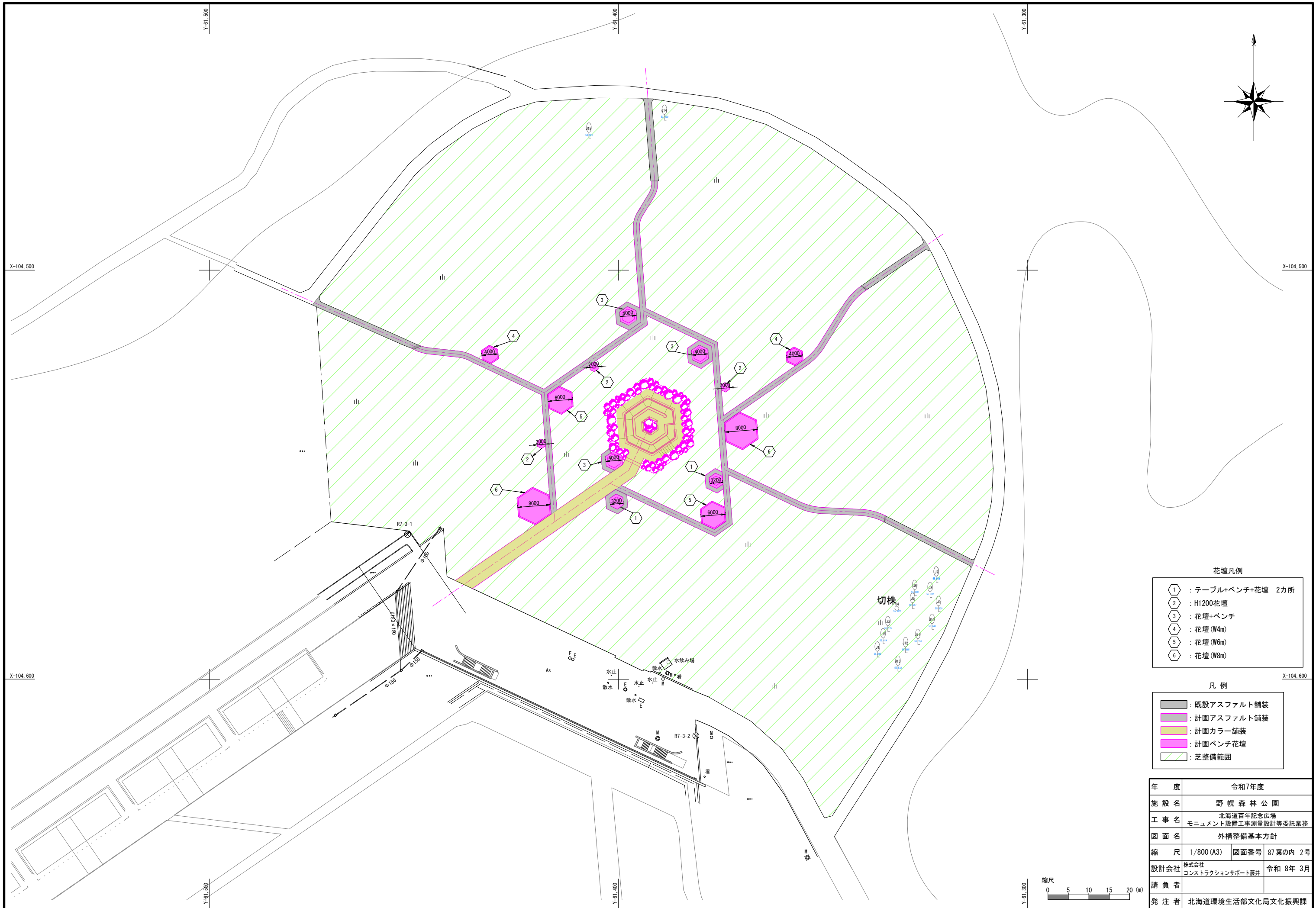
## 7. 設備関係 (令129条の2の3の事項)

- ・建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- 建築設備(昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
- 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋上水槽等」という)は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
- 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。
- 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造り、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備(給湯設備\*を除く)は、  
■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。  
■建築物の部分を通って配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。  
■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。  
■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあつては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
- 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
- \*「給湯設備」:建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

## 8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

年度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	構造設計特記仕様	
縮尺	一(A3)	図面番号 87葉の内1号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和8年3月
請負者		
発注者	北海道環境生活部文化局文化振興課	



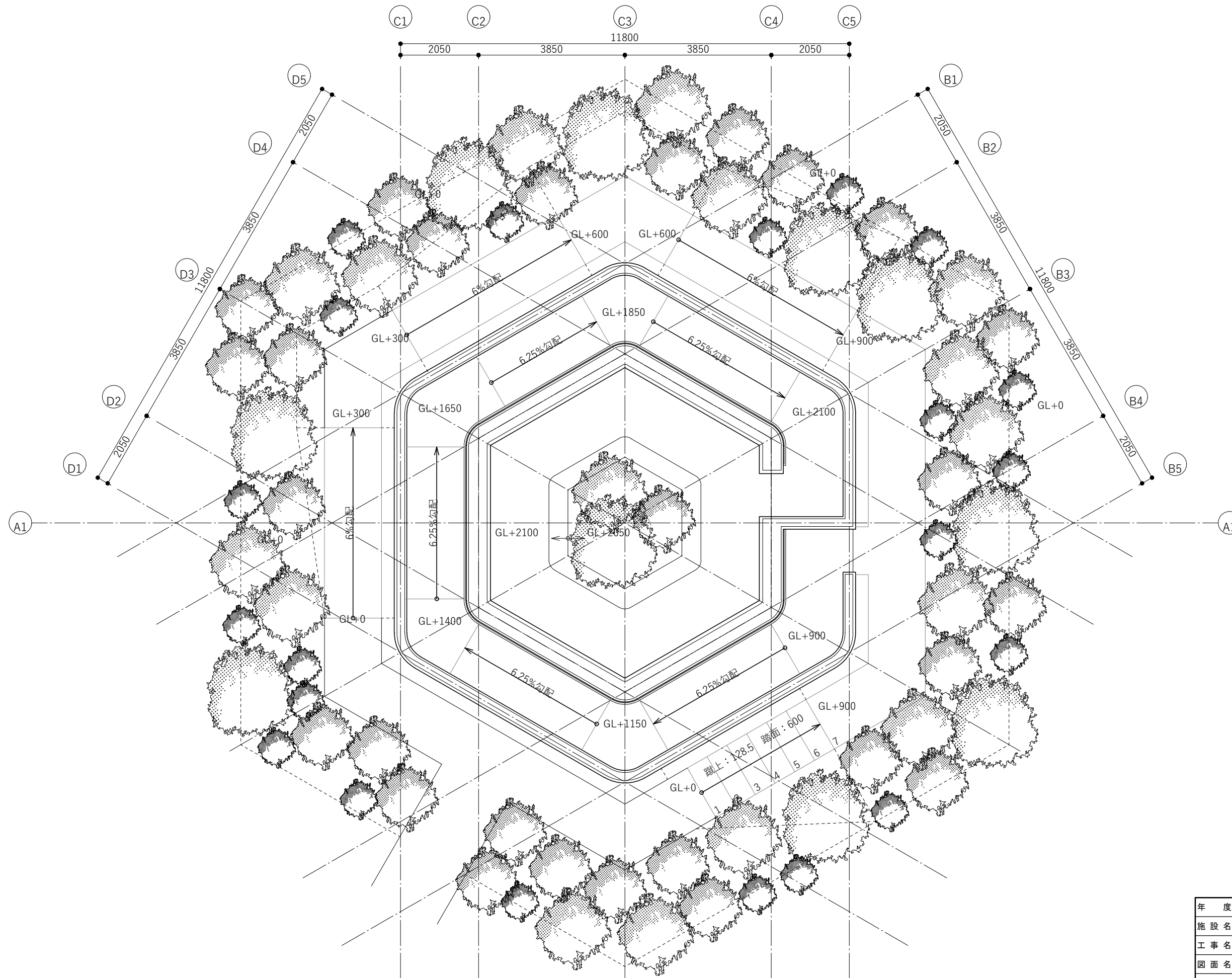
花壇凡例

①	: テーブル+ベンチ+花壇 2カ所
②	: H1200花壇
③	: 花壇+ベンチ
④	: 花壇(W4m)
⑤	: 花壇(W6m)
⑥	: 花壇(W8m)

凡例

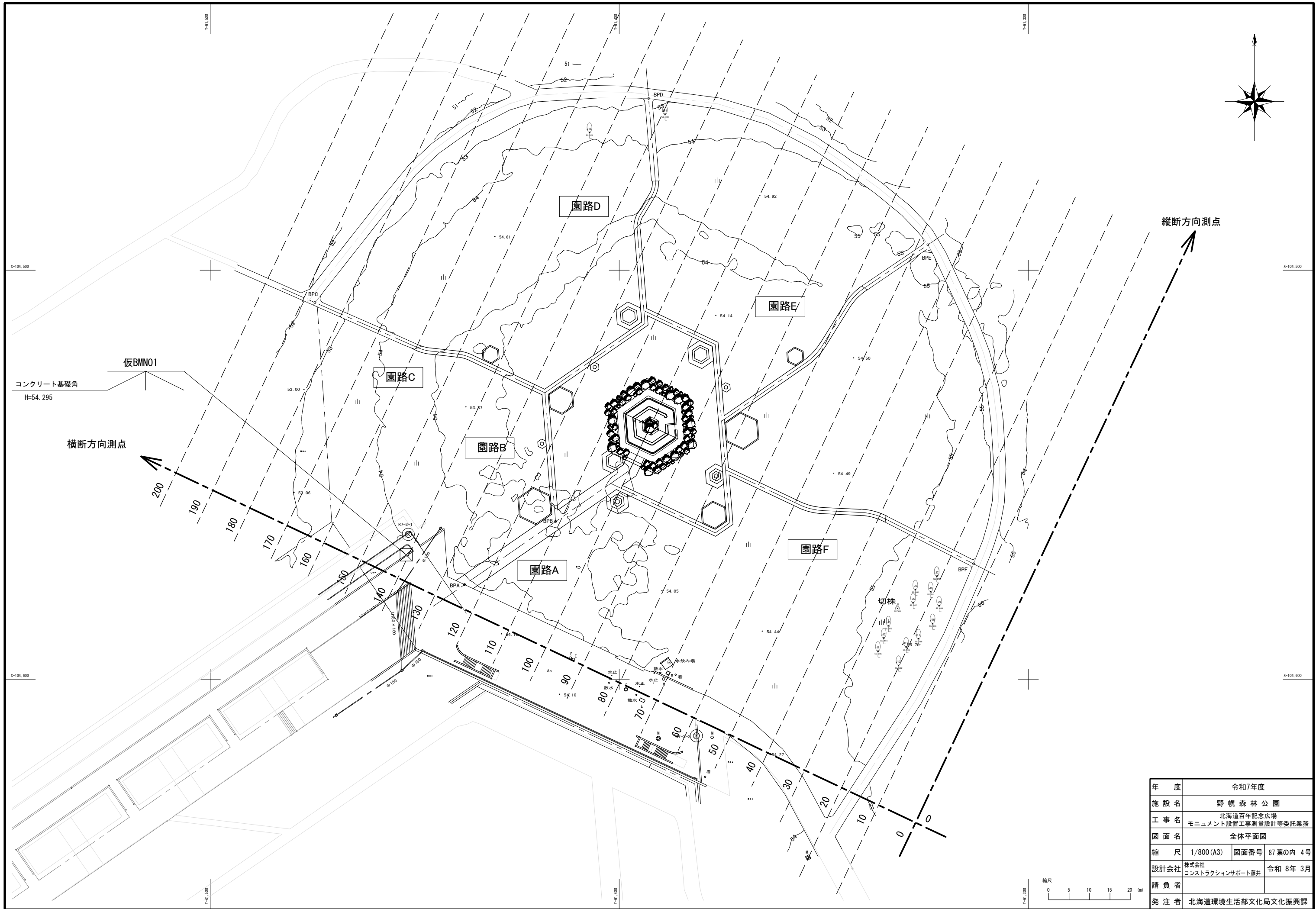
■	: 既設アスファルト舗装
■	: 計画アスファルト舗装
■	: 計画カラー舗装
■	: 計画ベンチ花壇
■	: 芝整備範囲

年度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	外構整備基本方針	
縮尺	1/800 (A3)	図面番号 87葉の内 2号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請負者		
発注者	北海道環境生活部文化局文化振興課	

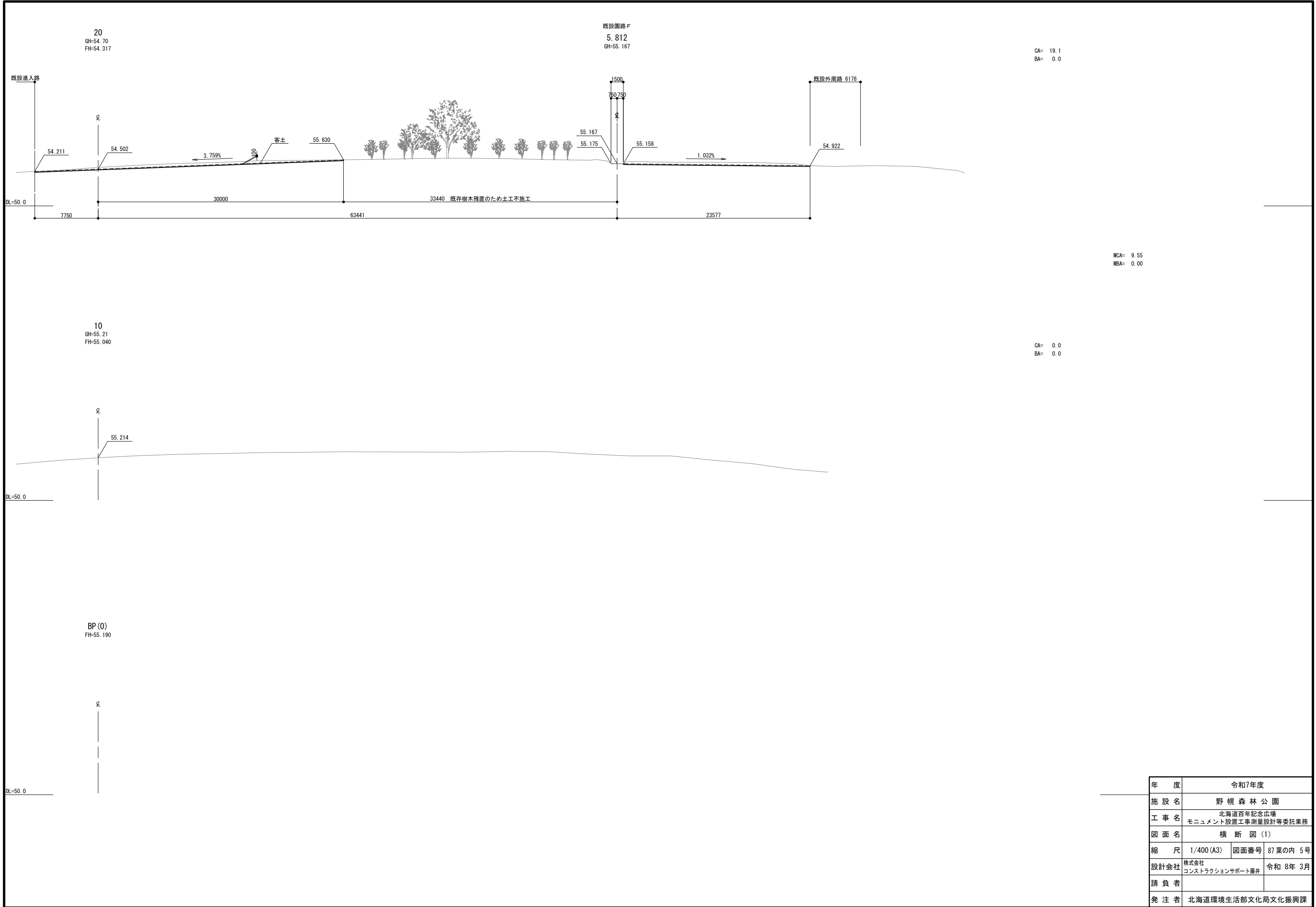


平面図(GL+10000) S=1:100

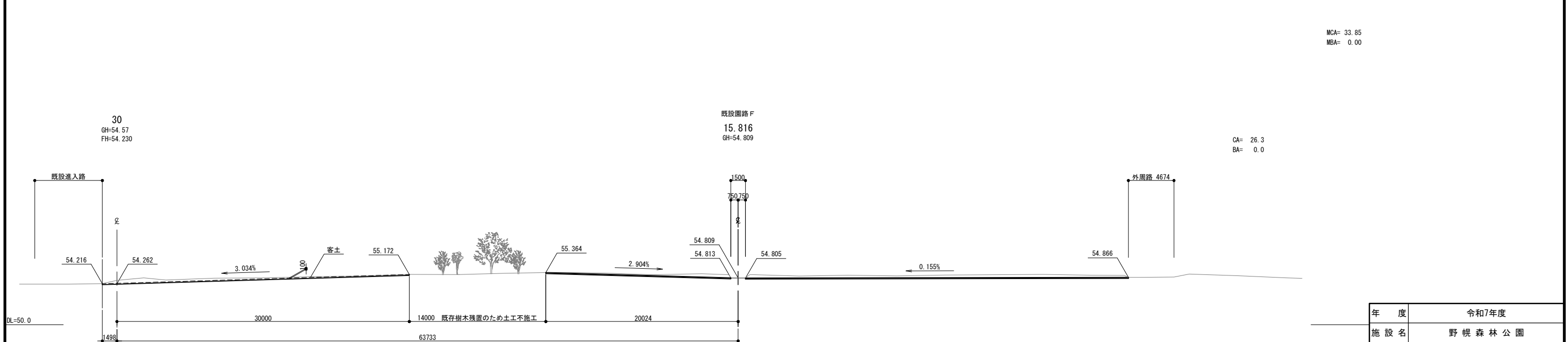
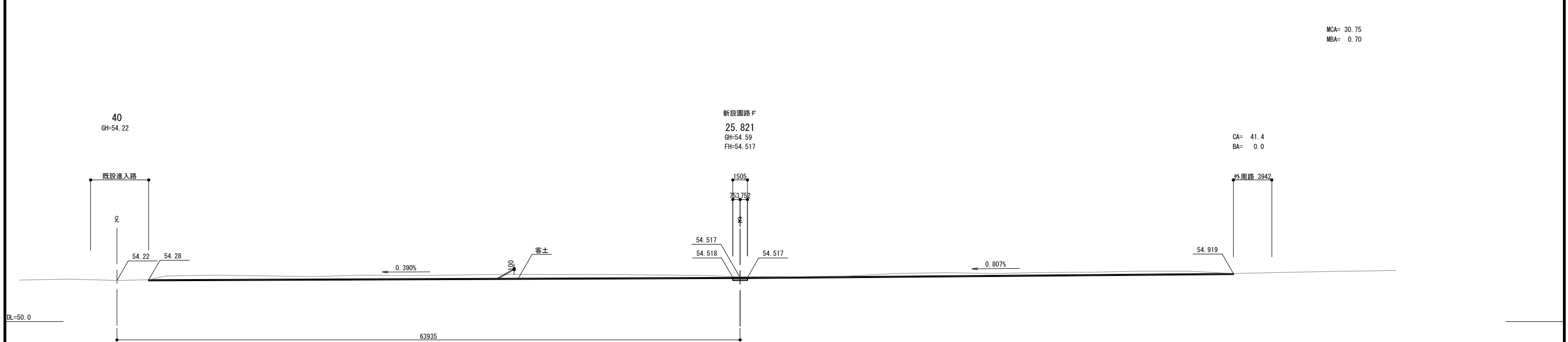
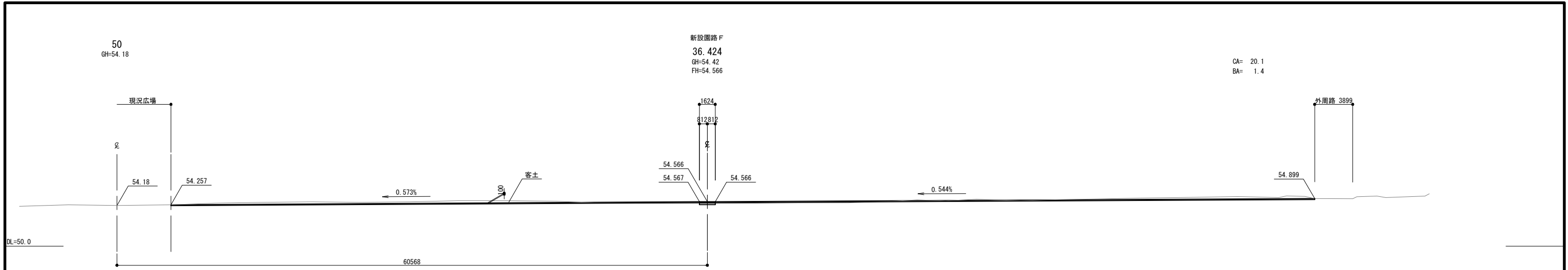
年 度	令和7年度		
施設名	野幌森林公園		
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務		
図面名	配置図		
縮 尺	1/100 (A3)	図面番号	87葉の内 3号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月	
請 負 者			
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課		



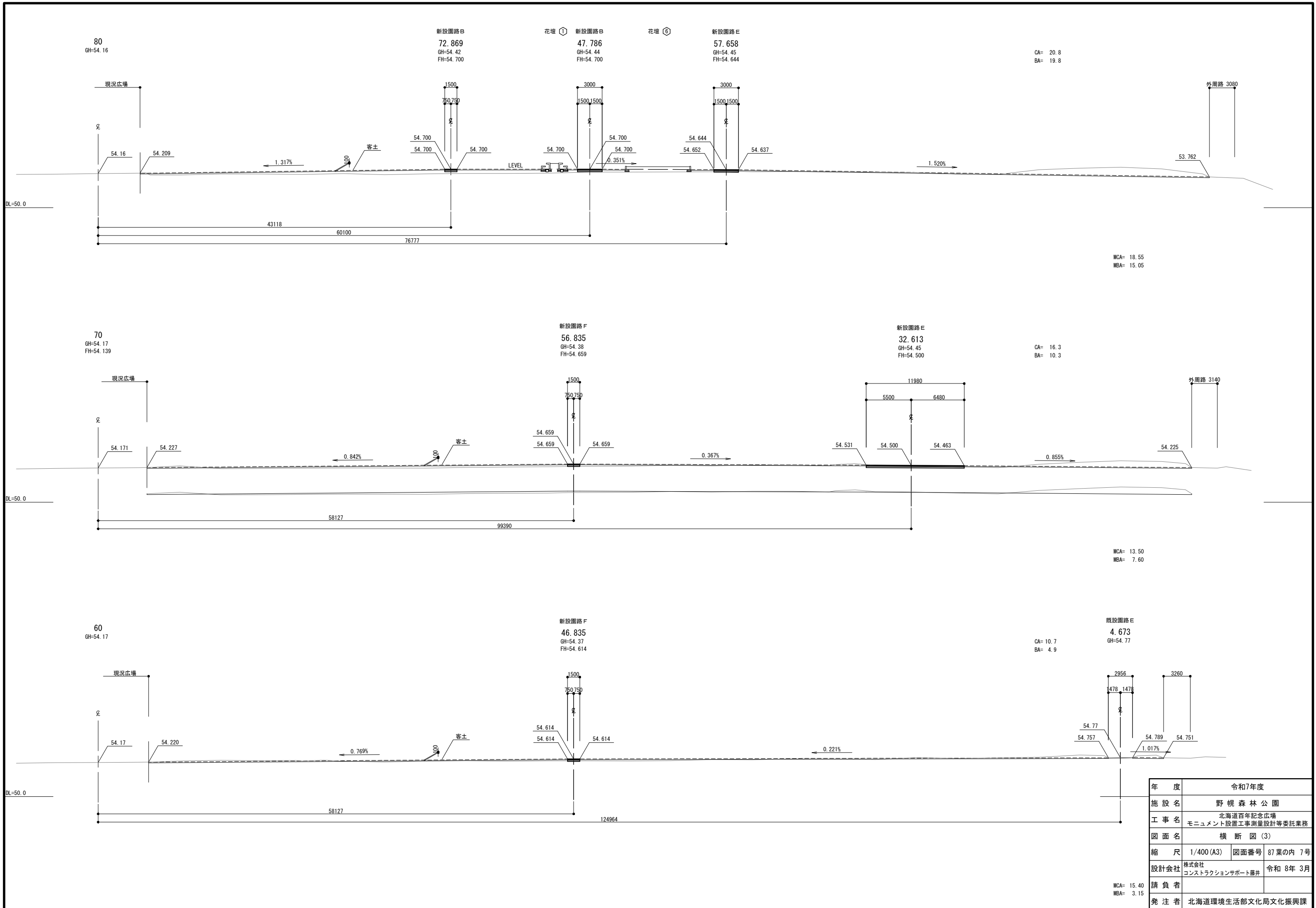
年度	令和7年度		
施設名	野幌森林公園		
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務		
図面名	全体平面図		
縮尺	1/800(A3)	図面番号	87葉の内 4号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	請負者	令和 8年 3月
発注者	北海道環境生活部文化局文化振興課		



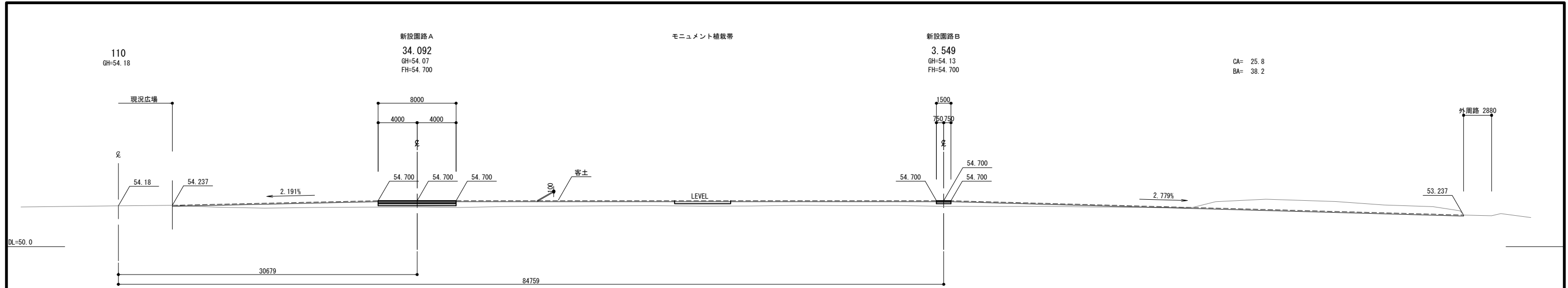
年 度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	横断図(1)	
縮 尺	1/400(A3)	図面番号 87葉の内 5号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	



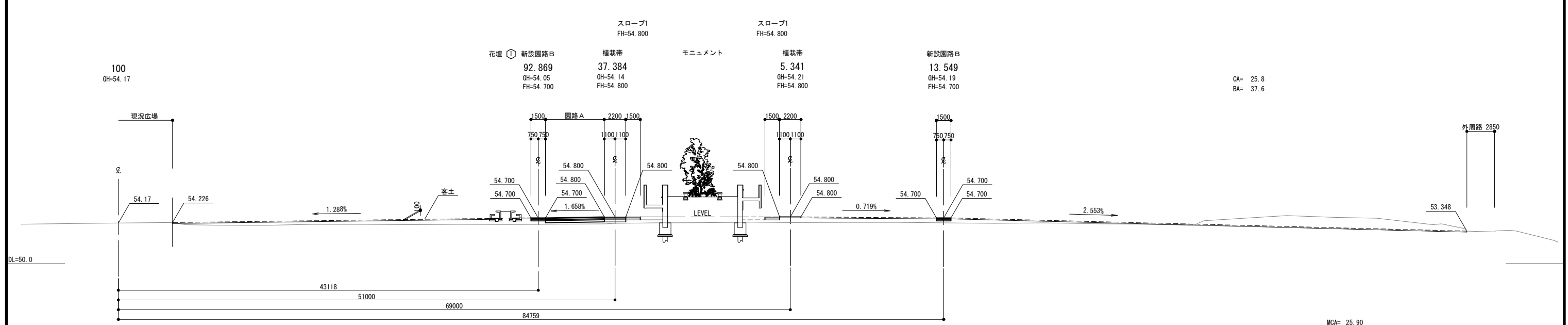
年 度	令和7年度	
施 設 名	野幌森林公園	
工 事 名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図 面 名	横 断 図 (2)	
縮 尺	1/400 (A3)	図面番号 87葉の内 6号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	



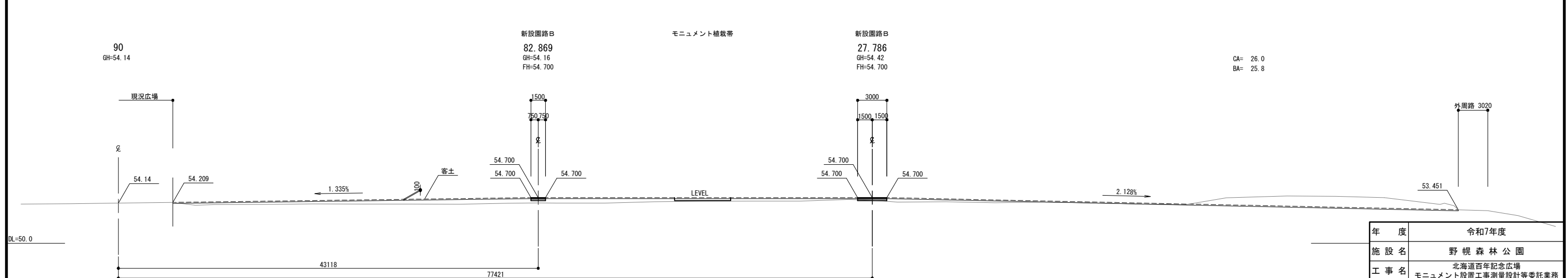
年 度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	横断図(3)	
縮 尺	1/400(A3)	図面番号 87葉の内 7号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	



MCA= 25.80  
MBA= 37.90

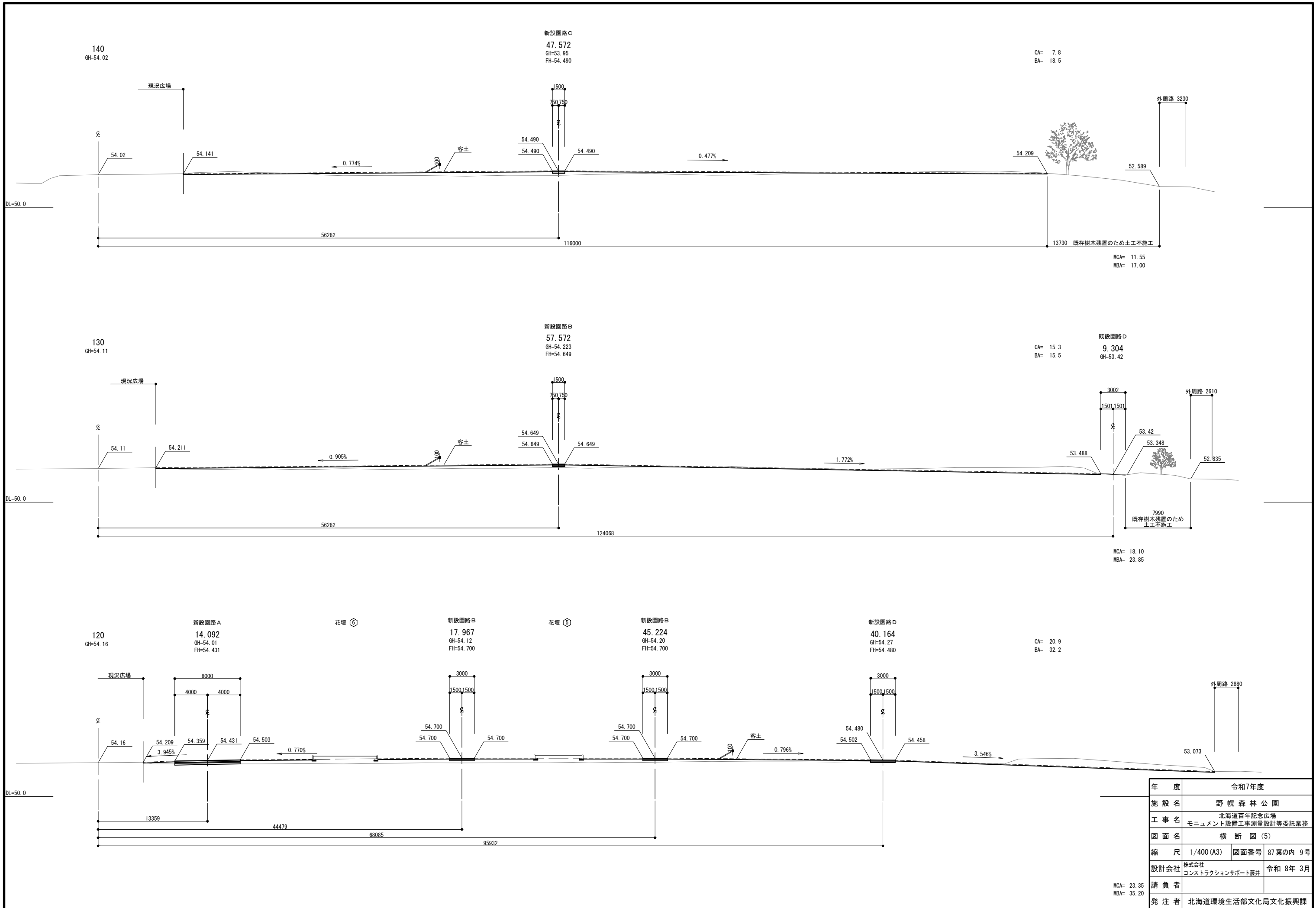


MCA= 25.90  
MBA= 31.70



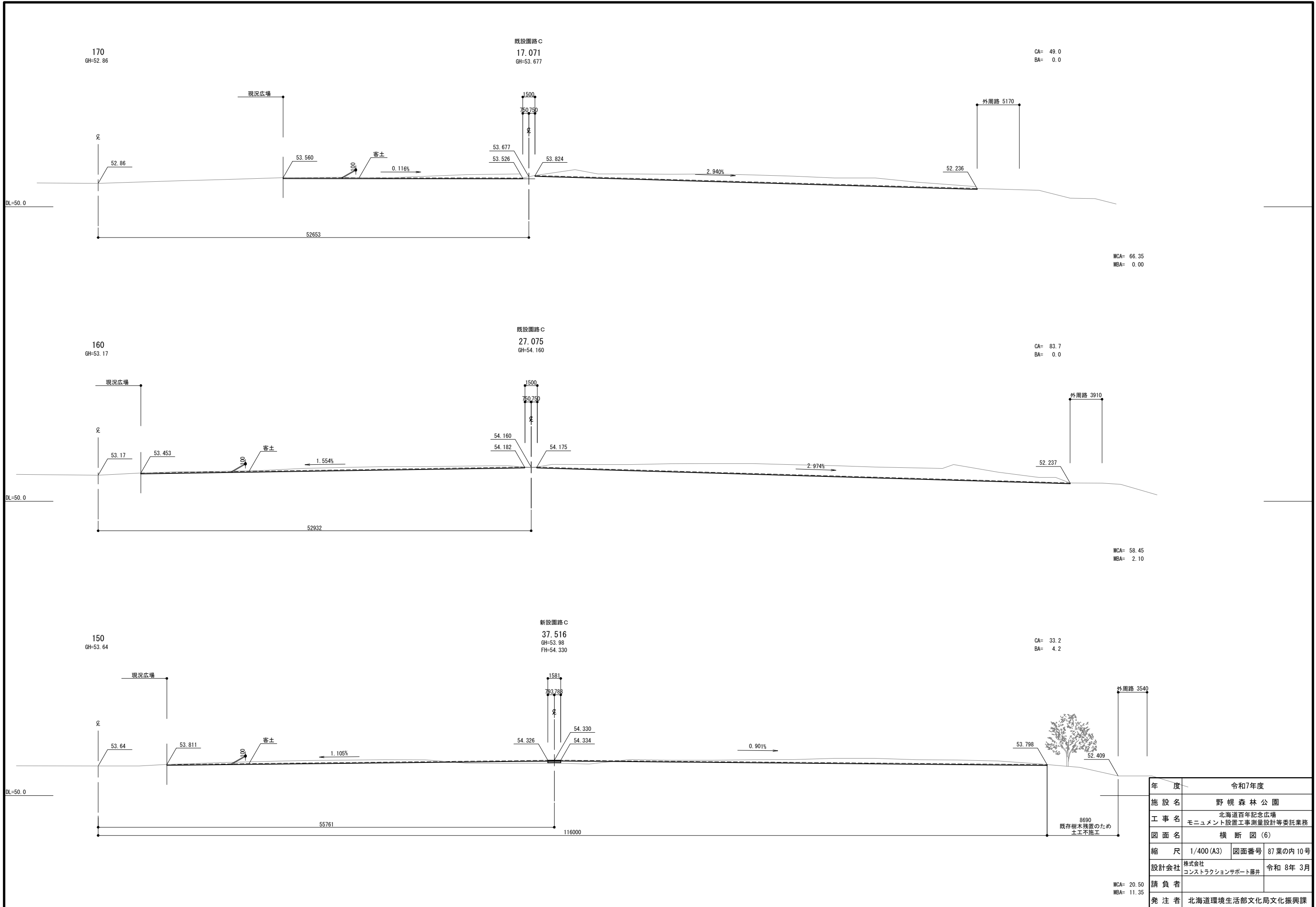
MCA= 23.40  
MBA= 22.80

年 度	令和7年度	
施 設 名	野幌森林公園	
工 事 名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図 面 名	横 断 図 (4)	
縮 尺	1/400 (A3)	図面番号 87葉の内 8号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	



年 度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	横断図(5)	
縮 尺	1/400(A3)	図面番号 87葉の内 9号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	

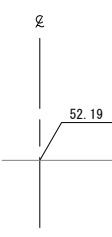
MCA= 23.35  
MBA= 35.20



年 度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場 モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
図面名	横断図(6)	
縮 尺	1/400(A3)	図面番号 87葉の内10号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	

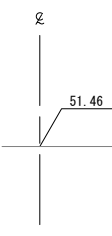
MCA= 20.50  
MBA= 11.35

200  
GH=50.74



DL=45.0

190  
GH=51.46

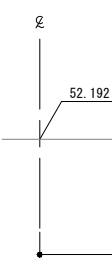


DL=50.0

GA= 0.0  
BA= 0.0

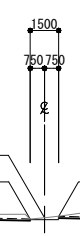
MCA= 8.65  
MBA= 0.00

180  
GH=52.19



既設園路C  
7.067  
GH=52.801

現況芝生広場



既設外周路 11250

DL=50.0

GA= 17.3  
BA= 0.0

MCA= 33.15  
MBA= 0.00

52375

年 度	令和7年度	
施設名	野幌森林公園	
工事名	北海道百年記念広場	
図面名	モニュメント設置工事測量設計等委託業務	
縮 尺	1/400 (A3)	図面番号 87葉の内11号
設計会社	株式会社 コンストラクションサポート藤井	令和 8年 3月
請 負 者		
発 注 者	北海道環境生活部文化局文化振興課	